

令和２年度 高岡市下水道事業報告書

1 概況

(1) 総括事項

令和２年度の下水道事業については、上下水道ビジョン計画を推進するなかで、下水道の使命である生活環境の改善、公共用水域の水質保全、浸水の防除に鋭意取り組むとともに、支払利息等の管理経費節減を図るなど、経営の健全化に努めました。

下水道施設の維持管理では、上下水道事業に関連する民間の技術力を生かし、将来にわたる技術水準の確保と効果的な維持管理の遂行に努めるため、包括的維持管理業務委託を実施しました。

下水道施設整備事業では、公共下水道及び特定環境保全公共下水道整備を進め未普及地域の解消を図るなか、下水道ストックマネジメント計画に基づき、市中心部における老朽下水道管路の更新事業を進めるとともに、浸水対策として雨水幹線整備、基幹施設整備として、四屋浄化センターの脱水機駆動装置更新工事や住吉ポンプ場受変電及び自家発電設備改築工事などを実施しました。

<普及状況>

本年度末における処理区域面積は 4,502.26haで前年度に比べ 24.15haの増加。また、処理区域内人口は 159,462人で前年度に比べ 585人減少し、普及率は 94.7%となりました。

<財政状況>

本年度の収益的収支については、事業収益 5,751,974,609円、事業費用 5,201,546,317円で収支差引 550,428,292円の当年度純利益を計上しました。

資本的収支については、資本的収入額 3,306,015,218円、資本的支出額 5,794,312,405円で不足する額 2,488,297,187円は、減債積立金 533,217,120円、過年度分損益勘定留保資金 711,046,602円、当年度分損益勘定留保資金 1,156,809,413円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 87,224,052円で補てんしました。